

国立大学法人信州大学

- ・ 信州大学教育学部附属長野小学校
- ・ 信州大学教育学部附属長野中学校
- ・ 信州大学教育学部附属松本小学校
- ・ 信州大学教育学部附属松本中学校
- ・ 小川村立小川中学校
- ・ 信濃町立信濃小中学校

モデル開発概要

現場における課題

- ◆ GIGAスクール構想では、授業から変わるのではなく、教師の校務や研修でクラウドを日常的にどこでも活用することで、教師がその特性に慣れ、児童生徒にどのようにクラウド活用させていけばよいかを理解させていくことが望まれる。

モデルの概要

- ◆ オンラインチャットを活用した日常的な情報発信・意見交換
- ◆ モニタの複数化による文書作成等の校務作業の効率化

活用する技術・ツール等

- ◆ 汎用オンラインチャット（Googleチャット, Slackなど）
- ◆ サブディスプレイ（モバイル型 or 据え置き型）

高度化に資する取組



モデルを活用する上でのポイントや期待される効果

- ◆ 働き方改革の実現：
オープンチャット、サブディスプレイの活用など校務の情報化に取り組み、教員の業務効率化に一定の成果をあげた。
- ◆ 研修観の刷新：
集合型研修から時間・空間的制約を開放し、いつでも情報交換ができる環境を構築。児童生徒を対象に近年普及しているGIGAスクールの学習観を教師も学べる環境を構築した。